Solo

TV Sound System

オーナーズガイド

目次

安全上の留意項目

はじめに

システム設定

別の設定 / 接続方法

操作

お手入れについて

安全上の留意項目

このガイドは必ずお読みください。

オーナーズガイドの指示に注意して、慎重に従ってください。ご購入いただいたシステムを正しくセットアップして操作し、機能を十分にご活用いただくために役立ちます。また、必要な時にすぐにご覧になれるように、大切に保管しておくことをおすすめいたします。

ボーズ製品をご使用いただく際は、必ず地域と業界指導の安全基準に従ってください。

正三角形に矢印付き稲妻マークが入った表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に注意喚起するものです。

正三角形に感嘆符が入った表示は、製品本体にも表示されている通り、このオーナーズガイドの中に製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることをお客様に注意喚起するものです。

警告: この製品には磁性材料が含まれています。埋め込み型医療機器の動作に影響があるかどうかについては、医師にご相談ください。

警告: のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。

警告:

- 機器を不安定な場所に置かないでください。機器が落下して、深刻なけがや死亡事故を引き起こす危険性があります。お子様の身に起こるものを含めた多くのけがは、簡単な予防措置で防ぐことができます。
- 機器のメーカーが推奨する設置台やスタンドを使用してください。
- 機器をしっかりと支えることができる設置台を使用してください。
- 設置台からはみ出した状態で機器を置かないでください。
- 機器を食器棚や本棚などの上に設置する際は、それらの家具と機器を適切な方法で壁に固定してください。
- 機器を設置台の上に置く場合は、機器の下に布などを敷かないでください。
- お子様に対し、機器をいじったり設置台の上に登ったりした場合の危険について、十分にご説明ください。
- 薄型テレビや本システムの設置作業の安全性に不安がある場合は、専門の設置業者にご相談ください。

警告: 機器に接続されているテレビをお子様が押したり引いたり上に登ったりした場合、テレビの転倒により深刻なけがや死亡事故を引き起こす危険性があります。安全性および設置の安定性の向上のため、薄型テレビに付属している転倒防止用ストラップを取り付けることをおすすめします。

安全上の留意項目

警告:
- 火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。
- 水漏れやしぶきがかかるような場所でこの製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。他の電気製品と同様、システム内に液体が侵入しないように注意してください。液体が侵入すると、故障や火災の原因となることがあります。
- 火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。

警告:
- リモコンの電池は、小さなお子様の手の届かないところに保管してください。リモコンの電池を誤って取り扱うと、火災を起こしたり、化学物質で皮膚を侵されたりする危険性があります。電池を充電したり、分解したり、100ºCを超える熱を与えたり、焼却したりしないでください。使用済みの電池は速やかに処分してください。交換する場合は、正しい種類と型番の電池を使用してください。
- 電池を飲み込まないでください。化学薬品によるやけどを負う恐れがあります。この製品に付属のリモコンにはボタン電池が使用されています。ボタン電池を飲み込むと、体内で2時間以内に深刻なやけどを負って生命を脅かす恐れがあります。電池はお子様の手の届かないところに保管してください。バッテリーカバーがきちんと閉まらない場合は、リモコンの使用をやめてお子様の手の届かないところに保管してください。電池を飲み込んだり、身体の中に入ってしまったと思ったら、すぐに医師の診断を受けてください。
- 電池を誤って交換した場合、破裂の危険性があります。3Vリチウムボタン電池のCR2032またはDL2032に交換してください。

注意: システムやアクセサリーを改造しないでください。許可なく製品を改造すると、安全性、法令の遵守、およびシステムパフォーマンスを損なう原因となり、製品保証が無効となる場合があります。

注記:
- 万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。
- この製品は、屋内専用機器です。屋外、RV車内、船上などで使用するようには設計されていません。また、そのような使用環境におけるテストも行われていません。
- 製品ラベルは本体の底または裏面にあります。

使用済みの電池は、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。
焼却しないでください。

This product conforms to all applicable EU Directive requirements. The complete Declaration of Conformity can be found at www.Bose.com/compliance.

Names and Contents of Toxic or Hazardous Substances or Elements						
Part Name	Toxic or Hazardous Substances and Elements					
	Lead (Pb)	Mercury (Hg)	Cadmium (Cd)	Hexavalent (CR(VI))	Polybrominated Biphenyl (PBB)	Polybrominated diphenylether (PBDE)
PCBs	X	0	0	0	0	0
Metal parts	X	0	0	0	0	0
Plastic parts	0	0	0	0	0	0
Speakers	X	0	0	0	0	0
Cables	X	0	0	0	0	0
0: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in all of the homogeneous materials for this part is below the limit requirement in SJ/T 11363-2006.						
X: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in at least one of the homogeneous materials used for this part is above the limit requirement in SJ/T 11363-2006.						

安全上の留意項目

安全上重要な指示

1. このガイドをよくお読みください。
2. 必要な時にご覧になれるよう、本書を保管してください。
3. すべての警告に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この製品を水の近くで使用しないでください。
6. 清掃の際は乾いた布を使用してください。
7. 通気孔は塞がないでください。メーカーの指示に従って設置してください。
8. ラジエータ、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
9. 電源コードが踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。特に電源プラグやテーブルタップ、機器と電源コードの接続部などにはご注意ください。
10. 必ずメーカーにより指定された付属品、あるいはアクセサリーのみをご使用ください。
11. 雷雨時や長期間使用しない場合は、製品の損傷を防ぐため、電源プラグを抜いてください。
12. 修理が必要な際には、サービスセンターにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、例えば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への落下、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、直ちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。

NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, you are encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a different circuit than the one to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by Bose Corporation could void the user's authority to operate this equipment.

Complies with the Canadian ICES-003 Class B specifications.

製品情報の控え

シリアル番号とモデル番号は、製品の底または裏面に記載されています。

シリアル番号:______________________________

モデル番号:______________________________

購入日:______________________________

このガイドとともに、ご購入時の領収証と保証書を保管することをおすすめします。

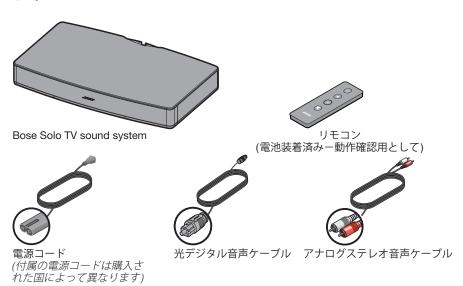
この製品はDolby Laboratoriesのライセンスに基づいて製造されています。Dolbyおよびダブル D マークはDolby Laboratoriesの登録商標です。

はじめに

お買い上げありがとうございます

Bose® Solo TV sound systemをお買い上げいただき、ありがとうございます。本製品は、薄型テレビの下にすっきりと設置できるように設計された、スタイリッシュなスピーカーシステムです。32V型以下のほとんどの機種と42V型以下の一部の機種に対応します。テレビの内蔵スピーカーでは得られなかった、卓越した音響パフォーマンスをお楽しみください。

付属品の確認

箱の中身を取り出して、下図の付属品がすべて同梱されていることを確認してください。

万一、開梱時に付属品の損傷や欠品などが発見された場合は、そのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。そのままでのご使用はお止めください。

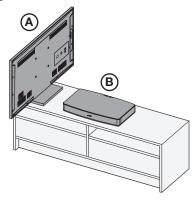
箱や梱包材は、後日製品の輸送や保管が必要になった場合にお使いいただけるよう、廃棄せずに保管しておくことをおすすめします。

ステップ1: システムを設置する

A. テレビを横にずらし、端子パネルが見えるようにして置きます。

B. テレビを置く場所にSolo systemを設置します。

設置のためのガイドライン:

- Bose Solo systemの上に設置可能な薄型テレビは、質量が18 kg以下、スタンドの幅が508 mm以下、奥行きが260 mm以下のものです。32V型までのほとんどのテレビと、一部の42V型テレビを設置することができます。
- スタンドがシステム上面の中央に来るように、テレビを設置します。システムからはみ出さないように注意してください。
- スタンドが大き過ぎてシステム上面からはみ出る場合は、システムを扉の無いテレビ台の棚などに設置してください。音声ケーブルが接続できるように、システムをテレビに近付けてください。また、テレビをシステムの上側に壁掛けして使用することもできます。
- システムをキャビネット内や棚に置く場合は、最適な音響パフォーマンスを得るために、システムの前面をできるだけ棚の前面に近付けてください。

注意: システムを部屋の隅やキャビネット内、棚などに置く場合は、音がこもったり低音が響きすぎたりする場合があります。低音の音量を下げるには、「低音の音量を下げる」(20ページ)をご覧ください。

注意:

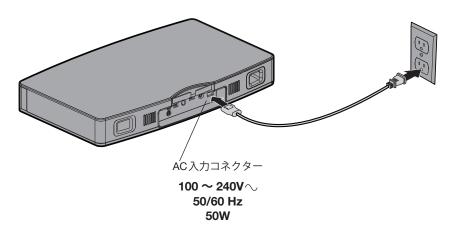
- ブラウン管タイプのテレビを、システムの上に設置しないでください。システムは、ブラウン管テレビ用には設計されておりません(非防磁)。
- スタンドがシステムからはみ出すようにテレビを設置すると、テレビが転倒して怪我をする恐れがあります。
- システムを壁のすぐ前に設置する場合は、壁とシステム背面との間を2.5 cm以上離してください。
- いずれの設置方法においても、システム背面の通気孔を塞がないようにしてください。
- テレビに転倒防止用ストラップが付属している場合は、テレビの設置完了後に、メーカーの指示に従って確実に取り付けてください。システムの上にテレビを設置する場合は、必ず転倒防止のための措置を取ってください。転倒防止用ストラップが付属していない場合は、家電量販店などでお求めください。

ステップ2: Solo systemを電源に接続する

A. 電源コードをAC入力コネクターに接続します。

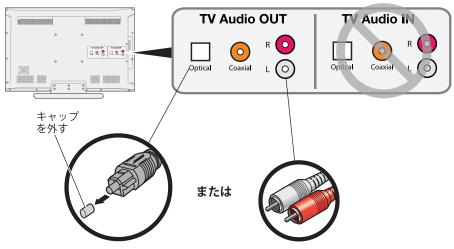
B. 電源コードのもう一方をコンセントに接続します。

しばらくすると、システムからビープ音が2回聞こえます。これでシステムを使用する準備が完了しました。

100 ～ 240V∿
50/60 Hz
50W

注意: 全ての電子機器に、安全規格認定を受けたサージプロテクターをお使いになることをおすすめいたします。電源電圧の変動や急激な上昇があると、電子機器が破損する恐れがあります。

ステップ3: 使用する音声ケーブルのタイプを選ぶ

テレビの裏側の端子盤から次の音声出力端子のいずれかを探して、使用するケーブルを決めます。6ページの「付属品の確認」をご覧ください。

音声出力を1つだけ選択

光デジタル音声出力

- 光ファイバーケーブルを経由してデジタルデータを伝送する、デジタル音声出力です。
- 最適な音響パフォーマンスを得るには、できるだけ光デジタル音声接続をお使いください。

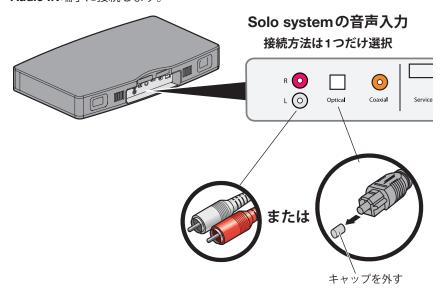
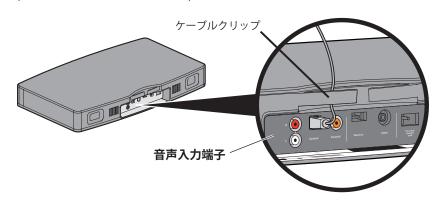
アナログステレオ音声出力

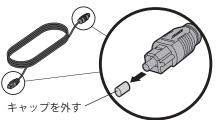
- 最も多くの機器で使用可能な音声出力です。左右のチャンネルを別々に接続します。
- デジタル音声出力を使用できない場合は、この接続をお使いください。

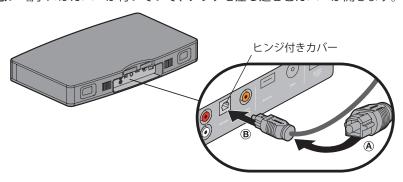
ヒント: テレビに音声出力がない場合でも、他の機器の音声出力を使用できる場合があります。たとえば、ケーブルテレビ端末やBS/CSチューナーをテレビに接続している場合は、それらの機器の音声出力をSolo systemに接続できます。Solo TV sound systemの別の接続方法については、「別の設定/接続方法」(16ページ)をご覧ください。

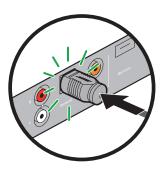
ステップ4: 音声ケーブルをSolo systemに接続する

ヒント: 光デジタル音声ケーブルを選択した場合は、「光ケーブル接続時の注意」(11ページ)をご覧ください。

A. 選択した音声ケーブルの一方をSolo systemのケーブルの種類に合った**Audio IN**端子に接続します。

B. 必要に応じて背面のケーブルクリップでケーブルを挟み、固定してください。(下の図は光ケーブルの例です。)

光ケーブル接続時の注意

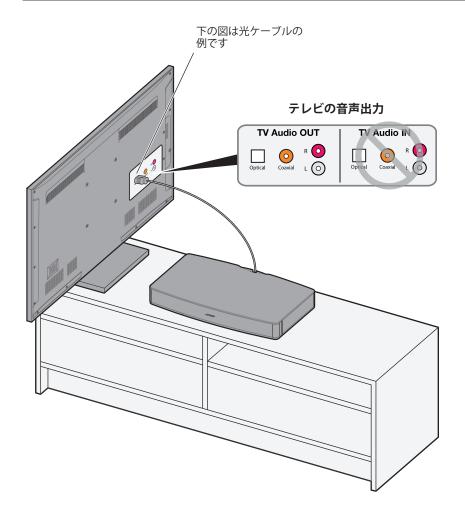
1. ケーブル両端のプラグから保護キャップを取り外します。

2. プラグの部分を図 Ⓐ のように持ちます。プラグの向きを光デジタル音声端子に合わせて、Ⓑ に慎重に挿し込みます。

注意: 端子にはカバーが付いていて、プラグを差し込むとカバーが開きます。

注意: プラグの向きを間違えて挿し込むと、プラグや端子が破損するおそれがあります。

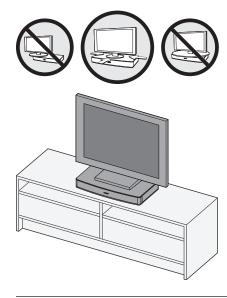
3. カチッと言う音が聞こえるか、指先に感触があるまでプラグをしっかり挿し込みます。

ステップ5: 音声ケーブルのもう一方をテレビに接続する

A. テレビの**音声出力**端子を探します。

B. 音声ケーブルのもう一方を対応する**音声出力**端子に接続します。

注意: 光デジタル音声ケーブルを使用する場合は、テレビの音声出力端子に合わせて、正しい向きでプラグを差し込んでください。Solo systemの端子方向と異なる場合は、プラグを回してください。

ステップ6: Solo systemの上にテレビを設置する

スタンドがSolo systemの中央に来るようにして、テレビを設置します。「設置のためのガイドライン」(7ページ)をご覧ください。

注意: 必ずテレビのスタンドがシステム上面の中央に来るように設置してください。

注意:

- ブラウン管タイプのテレビを、システムの上に設置しないでください。システムは、ブラウン管テレビ用には設計されておりません(非防磁)。
- スタンドがシステムからはみ出すようにテレビを設置すると、テレビが転倒して怪我をする恐れがあります。
- システムを壁のすぐ前に設置する場合は、壁とシステム背面との間を2.5 cm以上離してください。
- テレビに転倒防止用ストラップが付属している場合は、テレビの設置完了後に、メーカーの指示に従って確実に取り付けてください。システムの上にテレビを設置する場合は、必ず転倒防止のための措置を取ってください。転倒防止用ストラップが付属していない場合は、家電量販店などでお求めください。

システム設定

ステップ7: テレビの設定を確認する

Solo TV sound systemの音響パフォーマンスを十分にお楽しみいただくためには、テレビの内蔵スピーカーをオフにする必要があります。また、音声信号の出力をオフにしていないかを確認してください。

注意: テレビのメニュー画面の操作方法や設定の変更については、テレビの取扱説明書を確認してください。通常、取扱説明書はメーカーのWebサイトでもご確認いただけます。

A. テレビの電源を入れます。

B. テレビのメニュー画面で、[**音声**]、[**サウンド**]、[**スピーカーの設定**]などを選択します。

C. テレビの内蔵スピーカーをオフにするメニュー項目を探します。このメニュー項目には、[**スピーカーのオン/オフ**]などの名前が付いています。

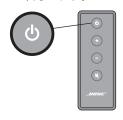
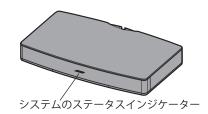
テレビのスピーカーをオフにする設定がない場合は、テレビの音量を最小にしてください。

D. 光デジタル音声出力を使用する場合は、音声設定でデジタル音声出力に関するメニュー項目を探します。使用するデジタル出力の選択が必要となる場合があります。

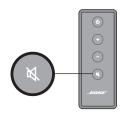
E. 光デジタルで接続する場合は、テレビのデジタル音声出力を「**PCM**」に設定してください。設定方法につきましては、テレビの取扱説明書をご参照ください。音声出力を有効にするには、これらの設定の選択が必要となる場合があります。

ステップ8: サウンドを確認する

A. Solo systemのリモコンの電源ボタンを押します。

システムのステータスインジケーターが緑またはオレンジに点灯していることを確認します。

B. テレビの電源が入っていることを確認します。

C. Solo systemのスピーカーから音が聞こえるかどうかチェックします。

ヒント: テレビのスピーカーがオフになっていることを確認するには、Solo systemのリモコンのミュートボタンを押して、テレビから音が出ていないことをチェックします。システムをミュートすると、フロントパネルのシステムステータスインジケーターが緑またはオレンジに点滅します。

注意: Solo systemの設置場所や再生している番組の種類によっては、音がこもったり低音が響きすぎていると感じる場合があります。音声出力の低音の音量を下げるには、「低音の音量を下げる」(20ページ)をご覧ください。

Solo systemのスピーカーから音が聞こえない場合:

- Solo systemの電源が入っていることを確認します。フロントパネルのシステムステータスインジケーター (19ページ) が緑またはオレンジで点灯していることを確認してください。
- Solo systemのリモコンで音量を上げます。
- 音声ケーブルがテレビの[**音声出力**]や[**オーディオ OUT**]などの端子に正しく接続されていることを確認します([音声入力]や[オーディオ IN]などは使用しません)。
- 光デジタル音声ケーブルを使用している場合は、正しく接続されていることを確認します。「光ケーブル接続時の注意」(11ページ)をご覧ください。ケーブルの接続を確認しても音が聞こえない場合は、別の音声接続方法をお試しください。
- Solo systemに接続する別の方法については、「別の設定/接続方法」(16ページ)をご覧ください。

別の方法での接続が必要な場合

お使いのテレビに音声出力がない場合や、テレビの音声出力をSolo systemに接続しても、テレビからSolo systemに音声が送られない場合があります。

テレビをSolo systemに直接接続して音声を再生できないときは、以下のいずれかの方法による接続をお試しください。

- **テレビに音声出力端子がない場合や、テレビからSolo systemに音声が送られない場合は**、次の項目をご覧ください。

  「ケーブルテレビ端末の音声出力への接続」(次の項目)、または

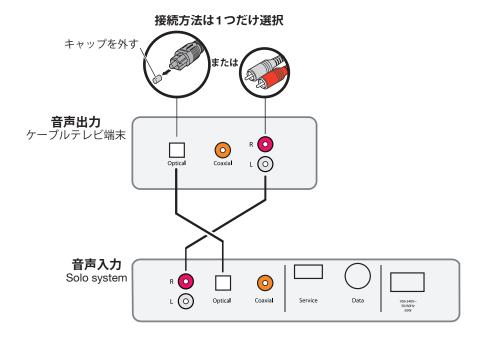
  「テレビのヘッドホン出力への接続」(17ページ)

- **テレビに接続されているDVDプレーヤーの音声が聞こえない場合は**、次の項目をご覧ください。

  「Solo systemへの複数機器の接続」(18ページ)

ケーブルテレビ端末の音声出力への接続

テレビをシステムに接続するのではなく、ケーブルテレビ端末の音声出力をSolo systemに接続できます。音声出力は必ず**1つだけ**使用してください。

注意: 光デジタルケーブル接続を選択する場合は、「光ケーブル接続時の注意」(11ページ)をご覧ください。

テレビのヘッドホン出力への接続

テレビにヘッドホン端子しかない場合は、3.5 mmステレオミニプラグ-ステレオRCA変換ケーブルを使用して、音声出力をSolo systemに接続できます。

この接続方法を使用する場合は、テレビの音量をほぼ最大まで上げて、Solo systemのリモコンで音量を調節します。

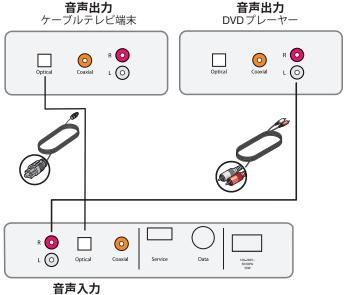
音声出力
テレビのヘッドホン端子
または他の可変音声出力

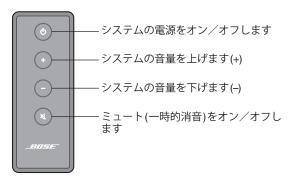
音声入力
Solo system

Solo systemへの複数機器の接続

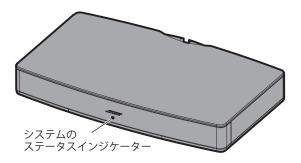
DVDプレーヤーなどの機器をテレビに接続している場合、DVDプレーヤーの音声がテレビの音声出力に送られていないことがありますが、Solo systemではこのような問題に頭を悩ませる必要はありません。Solo systemには、異なる種類の音声ケーブルを使用して最大3種類の機器を接続できます。たとえば、下の図ではケーブルテレビ端末とDVDプレーヤーがSolo systemに接続されています。

注意: ケーブルテレビ端末やBS/CSチューナーなどの電源が常にオンになっていると、この方法で接続して使用できないことがあります。Solo systemに複数の機器を接続する場合は、使用する機器のみをオンにして、他の機器はオフにしてください。

注意: 光デジタルケーブル接続を選択する場合は、「光ケーブル接続時の注意」(11ページ)をご覧ください。

リモコン

Solo TV sound systemはリモコンを使って簡単に操作できます。リモコンをシステムに向け、ボタンを押してください。

システムのステータスインジケーター

システムの操作状況は、システムステータスインジケーターの点灯状態で確認できます。

システムの状況:

消灯 .... 電源オフ(スタンバイ)
緑の点灯 .... 電源オン
緑の速い点滅 .... 音声ミュート中
緑の非常に速い点滅 .... 音量調整中
オレンジの点灯 .... 低音の音量低下中
赤の点灯 .... システムエラー (ユーザーサポートセンターへお問い合わせください)

低音の音量を下げる

Solo systemの設置場所や再生している番組の種類によっては、低音の音量が大きすぎると感じる場合があります。

低音の音量を下げる設定を選択するには

1. リモコンをシステムに向けます。
2. **ミュート**ボタン を長押しして、次の動作を確認します。

   システムの音が消え、ビープ音が3回(高音から低音)聞こえて、ステータスインジケーター (19ページ)がオレンジで3回点滅します。音声が元に戻り、ステータスインジケーターがオレンジに点灯します。
3. **ミュート**ボタンから指を放します。

低音の音量を標準設定に戻すには

1. リモコンをシステムに向けます。
2. **ミュート**ボタン を長押しして、次の動作を確認します。

   システムの音が消え、ビープ音が3回(低音から高音)聞こえて、ステータスインジケーター (19ページ)が緑で3回点滅します。音声が元に戻り、ステータスインジケーターが緑に点灯します。
3. **ミュート**ボタンから指を放します。

他社製リモコンの使用

テレビチューナーのリモコンなど、他社製リモコンをプログラムして、Solo systemを操作することができます。

チューナーの取扱説明書のリモコンの項目を参照し、リモコンでテレビを操作できるようにプログラムする手順に従ってください。機器コードの入力が必要な場合は、チューナーの取扱説明書を参照して、Boseシステム用のコードを入力してください。

プログラムが完了すると、電源のオン／オフや音量の調節など、基本的な機能を他社製リモコンで操作できるようになります。

故障かな？と思ったら

トラブル	対処方法
スタンドが大き過ぎてテレビをシステムの上に設置できない	• 扉の無いテレビ台の棚など、システムを別の場所に設置してください。 • 可能な場合は、システム上側の壁面にテレビを設置してください。
システムの電源が入らない	• 電源コードがシステム本体に正しく接続されていることを確認してください。 • 電源コードが壁のコンセントに正しく接続されていることを確認してください。コンセントにスイッチがある場合は、スイッチがオンになっていることを電灯などで確認してください。 • システムをリセットしてください。電源コードをコンセントから抜き、1分待ってから差し直します。システムからビープ音が2回聞こえ、電源がオンになったことを確認します。
音が出ない	• システムの電源がオンになっていて、インジケーターがオン(緑またはオレンジの点灯)になっていることを確認してください。 • システムがミュート(消音)状態でないことを確認してください。 • 音量を上げてください。 • 音声ケーブルがシステムとテレビに正しくしっかりと接続されていることを確認してください。 • テレビの電源がオンになっていて、入力が正しく切り替わっていることを確認してください。 • デジタル音声ケーブルを使用している場合は、テレビのデジタル音声出力が有効になっていて「PCM」に設定されていることを確認してください。お使いのテレビの取扱説明書を参照してください。 • デジタル音声ケーブルを使用できない場合は、アナログステレオ音声ケーブルをお使いください。 • システムをテレビの「可変音声出力」に接続している場合は、テレビの内蔵スピーカーがオフになっていて、テレビの音量が大きく設定されており、さらにテレビが消音状態でないことを確認してください。 • Solo systemシステムに接続されている機器のうち、使用するもの以外をすべてオフにしてください。
リモコンが正しく機能しないことがある、またはまったく機能しない	• リモコンに電池が正しく装着されているかどうか、および交換の必要がないかどうかを確認してください。「リモコンの電池の交換」(22ページ)をご覧ください。 • リモコンをシステムに向けて操作ボタンを押してください。 • リモコンの音量ボタンまたはミュートボタンを押して、システムステータスインジケーターが点滅することを確認してください。
音がこもる、低音が大きすぎる	• 設定を変更して、低音の音量を下げてください。「低音の音量を下げる」(20ページ)をご覧ください。 • システムの位置や向きを変えてみてください。システムの状況によっては、低音が響きすぎている場合があります。「設置のためのガイドライン」(7ページ)をご覧ください。
音声が歪む	• 音声ケーブルがシステムとテレビにしっかりと接続されていることを確認してください。 • システムをテレビの「可変音声出力」に接続している場合は、テレビの音量を小さくしてください。 • テレビを接続するのではなく、別の接続方法(16ページ)を使用して、DVDプレーヤーなどを直接システムに接続してみてください。
テレビから音が出る	• テレビの内蔵スピーカーをオフにしてください。 • テレビの音量を調節してください。
システムステータスインジケーターが赤くなっている	• システムエラーです。ユーザーサポートセンターへお問い合わせください。

リモコンの電池の交換

リモコン操作ができなくなったり、操作できる距離が短くなった場合には、リモコンの電池を交換してください。

警告: 子供がリモコンの電池に手を触れないようにしてください。また、電池の取り扱いを誤ると、火災や火傷の原因となることがあります。再充電したり、分解したり、100℃を超える熱を与えたり、焼却したりしないでください。使用済みの電池は速やかに処分してください。交換する場合は、正しい種類と型番の電池を使用してください。

1. 硬貨などを使用して電池カバーを少し左に回します。

2. カバーを取り外して使用済みの電池を取り出し、＋極の表示を上に向けて新しい電池(CR2032またはDL2032)を装着します。

3. カバーを元に戻し、右に回してロックします。

お手入れについて

- スピーカーの外装は柔らかい布でから拭きしてください。
- スピーカーの近くでスプレーを使用しないでください。溶剤、化学薬品、またはアルコール、アンモニア、研磨剤などを含むクリーニング液は使用しないでください。
- 開口部に液体が入らないようにしてください。
- スピーカーグリルは特にお手入れの必要はありませんが、弱いパワーでブラシ付きの掃除機をかけてもかまいません。

ユーザーサポート

トラブル解決のための詳細情報については、ボーズ株式会社ユーザーサポートセンターにお問い合わせください。

お問い合わせ先

故障および修理のお問い合わせ先

ボーズ株式会社　サービスセンター
お客様専用ナビダイヤル 0570-080-023
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-1124へおかけください。
〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9
唐木田センタービル

製品等のお問い合わせ先

ボーズ株式会社　ユーザーサポートセンター
お客様専用ナビダイヤル 0570-080-021
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-0955へおかけください。

保証

保証の内容および条件につきましては、付属の保証書をご覧ください。

仕様

電源定格

100V〜 50/60 Hz 50W

外形寸法

525 (W) x 309 (D) x 71 (H) mm

質量

4.6 kg